



INDEX

京都青少年ゆめネットワークの紹介	- P 1
ゆめっと加盟団体への訪問取材（2）	
(一財)ポジティブアースネイチャーズスクール	- P 2
進化型コミュニティハウス「かどや」 日本体験教育協会（共育あそび場サードプレイス）	- P 4
地域の若者スポットライト事業	
CLUB ATTRACTION（クラブ アトラクション）	- P 6
京都青少年ゆめネットワーク 令和3年度事業の実施状況・会員名簿	- P 8

京都青少年ゆめネットワーク とは

「京都青少年ゆめネットワーク(愛称:ゆめっと京都)」は、1996年3月に、京都府内の青少年活動を行う団体やグループが連携し、「自立=青少年の自発的な活動により、共生=府内の多くの仲間と共に、貢献=地域づくりへの参画など積極的に社会に働きかけていく」ことをめざして、設立されたものです。

“ゆめっと”とは、「夢見る人」「夢京都」「夢ネットワーク」などをイメージする造語です。

青少年の限らない可能性と創造力、主体性を引き出すために、会員の総意と自由な発想に基づき、事業を展開しています。

あなたも ゆめっとの輪 に加わりませんか

京都青少年ゆめネットワークでは、会員を募集しています。

入会を希望される方は、入会申込書に必要事項をご記入の上、電子メールにより、事務局までお申し込みください。

団体会員の場合、5名以上の会員名簿を添付してください。団体会員Cとして入会を希望する団体は、会員の氏名、役職、年齢も記入してください。所定の入会審査後、入会通知書をお送りいたします。（メール送付先：office@yumet.org）

入会申込書は、ホームページ（<http://www.yumet.org/>）からダウンロードしてください。

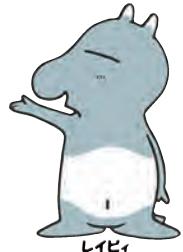
入会資格	【団体会員】	青少年が主体となって青少年活動を行っている5名以上の団体又はサークル
	【個人会員】	概ね16歳以上40歳未満の青少年
	【賛助会員】	本会の事業を賛助する個人又は団体

会 費	【団体会員A】	NPO法人を除く法人格を有する団体会員	年額10,000円
	【団体会員B】	団体会員A及びCを除く団体会員	年額 5,000円
	【団体会員C】	30歳未満の青少年が主体となった団体会員	年額 1,000円
	【個人会員】	会費は無料です	
	【賛助会員】	個人、団体の区別を問いません	一口年額10,000円

京都青少年ゆめネットワーク加盟団体への訪問取材（2）

コロナ禍のさなか、ゆめっと京都の加盟団体は、様々な苦労、工夫をしながら日々奮闘されています。

昨年度、ゆめっと京都が今できることとして、加盟団体を訪問し、組織の成り立ちや現状、これから夢やビジョン、ゆめっと京都に期待することを取材しました。訪問取材の続きを掲載します。



一般財団法人 ポジティブアース ネイチャーズスクール

代表理事：砂山 真一

所在地：京都市中京区西ノ京西月光町 18-2-1

電話：075-354-6388

メール：info@pens-p.com

URL：http://pens-p.com



組織の成り立ちを教えてください

元々、京都の進学塾で野外活動の事業を担当していたメンバーが、2010年に独立をして、組織を立ち上げました。

立ち上げ当時は、野外教育事業と理数教育事業があり、子ども向けのキャンプ事業や理科実験教室を行なっていました。

多くの子どもたちに自然体験や理科実験を通して、感受性を高め、これまでできなかつたことができるようになる喜び、また、理科実験から探究する心や知的好奇心の向上を目的にスタートしました。

理念の根幹である「場作り」を基本におきながら、子どもたちや、彼らをサポートする大学生の指導者育成を通し、人が元気になり、居心地が良いと感じられる「場」の提供を目指しています。

組織の現状を聞かせてください

2010年2月に立ち上げて以来、コンセプトでもある「場づくり」を中心に活動をしています。2011年からは京都市の百井青少年村の指定管理も始まり、キャンプ場の運営を行なっています。キャンプ場という拠点ができたことで活動の幅も広がりました。また、立ち上げ当初は年間の事業も少なかったのですが、現在は子どもの自然体験事業の年間コースが月6本あり、100人を超える子どもたちが毎月活動に来てくれています。

また、2021年からは兵庫県丹波篠山市のチルドレンズミュージアムという子ども向けの体験型ミュージアムの指定管理も始まり、それに伴い学童保育事業もスタートしました。2022年4月からは学童保育がさらに1校増える予定です。立ち上げ当初は自然体験という場しかなかったのですが、現在はさまざまな「場」を作らせてもらっています。

これからの夢やビジョンはどのようなことですか？

2010年の立ち上げから10年が過ぎ、組織の規模、職員数も大きくなりました。こらからの10年は引き続き主催事業をしっかり実施して、多くのお子さんに自然体験の場を提供し続け、地道に進んでいきたいと思います。

また、PENSで活動してくれていた学生たちが卒業し、社会へ出していく中で、多くの卒業生が教員や自然学校で働いてくれています。PENSそのものの拡大を目指していくことより、ここで学んだ人たちが多くの場で我々が大事にしていることをどんどん社会に広げて行ってくれたらと思っています。



立ち上げ当初に一緒に働いていたメンバーが独立をし、各地で頑張っているのですが、そういった人たちを今後も支援しつつ、日本中にPENS イズムが広がっていけたらと思います。

このコロナ禍で我々の行なっている自然体験活動も体験できる人できない人の格差が出てくるのではないかと危惧しています。現在副代表を務めている日本アウトドアネットワークでは寄付金や補助金を活用し、ひとり親家庭への自然体験事業参加の援助などを行なっています。体験格差を引き起こさないよう日本中の子どもたちの「場」を作りていきたいと思います。

ゆめっと京都に期待することは何でしょうか？

私自身が代表を務めているゆめっと京都ですので、期待するというより私自身がゆめっと代表としてしなければならないことだと思うのですが、コロナ禍でオンラインの普及やSNSの活用が一般化していく中で、やはり、人と人が顔を突き合わせ、そこで語らい、夢を話す。そんな場をゆめっとして作っていきたいと思っています。

ゆめっとと関わり10年以上になりますが、ネットワーク組織として、今後とも、多くの人が出会い、何か新しい事業を開いていけるような組織となればと思っています。



進化型コミュニティハウス「かどや」 日本体験教育協会 (共育あそび場サードプレイス)

発起人：酒井 俊彦

所在地：大阪府高槻市大字原 989

電話：072-609-1646

URL：<https://kadoya-hara.amebaownd.com>



2020年、京都青少年ゆめネットワークに加入された、「共育あそび場サードプレイス」代表の酒井俊彦さんが、高槻市内の古民家を拠点として、新たな活動を始められました。

加盟団体訪問として、砂山代表と仲統轄が訪問して、取材してまいりました。

150年前に建てられた古民家は、約40畳の広間と現役の「かまど」がシンボル。裏庭で、焚き火をしながら、酒井さんは語ってくれました。

古民家での活動を始めたきっかけを教えてください

進化型コミュニティハウス「かどや」の発起人です。2021年9月から、フリースクールをスタートしました。

(公財)青少年野外活動総合センター「友愛の丘」で青少年育成に携わっていましたが、より良い教育環境を求めて、独立しました。新たな活動を始めようとしたときに、コロナが広がって、仕事ができなくなりました。友愛の丘を退職したときの思いを大切にして、自分が好きにできる場所を作ろうと、まずは山を買おうと思いました。京都周辺の山々を探しましたが、条件に合う場所は、なかなか見つかりませんでした。

偶然立ち寄った、高槻市内の不動産屋で、古民家付きの土地を見つけました。自然豊かで交通の便がよい場所で、すっかり気に入ったので、購入したのです。ここで、人が育ち合う場つくりをしたいと思いました。

現在は、どんなことをやっているのですか

「なんとかスクール」という名前で、小学1年生から高校3年生までを対象として、フリースクールを開設しました。毎日、15時までやっていますが、現在、6名が登録しています。そのうち、毎日来てくれるのは、1名です。

「放課後なんとかクラブ」という名前で、小学1年生から高校3年生までを対象として、放課後のこどもクラブをやっています。平日の15時から17時まで、子どもたちが自由に遊び回っています。

日曜日には、「ちびっこ自然クラブ」、「原っこ冒険クラブ」、「親子DE体験クラブ」など、子ども対象、親子対象のイベントをやっています。

校長は、「友愛の丘」の元学生リーダー、上村賢登さんです。大学卒業後、小学校教師に就いていましたが、子どもたちの心が育ち合う居場所をつくりたいと思って、かどやのメンバーとなりました。

やりたかったことができたんですね

親も子も育ち合う場つくりをしたかったのです。子どもは家庭の中で育つもので、親も育つ必要があります。子どもたちが育つために、お母さんを助けたいと思いました。今では、子どもたちのお母さんが手伝ってくれています。いろんな話、悩みも話してくれます。

スタッフみんなで作った井戸があります。もう少し深く掘るつもりだったのですが、早めに地下水が湧き出てしまい、飲める状態ではないのが残念です。



やってよかったと思えることは何ですか

古民家の活動を始めて、多くのボランティアが集まってくれています。勝手にドラマが動いているようで面白いです。いろんな人が情熱を持って動いてくれています。また、ボランティアスタッフの学生から、お金が足りないなら、行商をやってお金を稼ぎたいと言つてくれました。やりたいことにはお金が必要。お金を稼いで、自分たちの居場所を作りたいというわけです。場所を提供しただけで、まわりが動いてくれています。

ボランティア募集サイト「アクティボ」を使うと、ボランティアは集まってくれますよ。

これからの夢やビジョンはどのようなことですか

フリースクールのネットワークはあるのですが、フリースクールを立ち上げたい人のネットワークがありませんので、つくりたいと思っています。

学童事業に対して、行政から補助金をもらいたいのですが、法人ではないので、補助金がもらえません。そこで、法人にしたいと考えています。

ゆめっと京都に期待することは何でしょうか

まだ、お金が足りません。皆さんには、金策に協力してほしいと願っています。ゆめっと京都には、異業種とのつながりとして期待しています。

酒井さんの古民家は、高槻市内から亀岡市へ向かう府道から、そう遠くない集落内にあります。子どもたちが通うようになって、近隣の方々にも受け入れられているそうです。

ここで、ゆめっと京都の懇親会をやって、みんなで寝袋で雑魚寝するのも面白いだろうなって、古民家を後にしました。



ゆめっと京都
砂山代表

日本体験教育協会
発起人 酒井 俊彦 氏

地域の若者スポットライト事業

京都府内で活動する青少年団体を取材し、その内容を広報紙及びホームページに掲載するなど、青少年団体、若者の活動を支援します。今回は、（公財）青少年野外活動総合センターの衣川さんが、クラブアトラクションを取材しました。

CLUB ATTRACTION (クラブアトラクション)

理事長：田中 洋一

事務所住所：滋賀県大津市大江 2 丁目 31-30-103

京都市中京区手洗水町 647

トキワビル 4-B oinai

URL：<https://www.club-attraction2525.com>



子ども達の遊ぶチカラ・生きるチカラの向上と若者達の地域参画・リーダーシップの育成を目的に、滋賀県と京都府を中心に活動している非営利団体。

自然体験を通じて、子どもたちや若者の成長を支援し、これからの未来を考えて日々奮闘している。

団体が発足したきっかけについて教えてください

始まりは、田中洋一代表が大学1年生18歳の時でした。当時、公園などで遊んでいる子どもたちを見かけなくなっているな、見かけてもゲームをしていることが多いなと感じていた。

京都の大学に通っていたため、京都にある青少年団体に参加をしていました。そこで、京都にいる子たちはどういう風に過ごしているなどが、少しずつ見えてきた。

じゃあ、地元『滋賀県』の子どもたちはどうだろうと感じました。手始めに、公園に子どもたちと遊ぶ相手がいたら豊かになっていくのではないかと考えスタートしました。

始まった当初は、サークルの6人ほどで子どもたちに遊びを教えたりなどが多かったです。その後、公園を軸に、子ども、さらにはその保護者へと街づくりになっていくのではないかと感じ仲間を募り団体として始まりました。



理念について教えてください

子どもをポイントに置いていますが、子どもを軸に周りの社会の人、地域の人が豊かになっていってほしい。その間の部分をつなげていけるようなことをしたいです。

特定の人を指さない、誰かのために。

『誰かのために朗らかに挑戦する』を掲げて活動している。なぜ、特定の人を指さないのかというと、例えば、子どもに焦点を合わせると、子どものフィールドを広げていったとします。すると、その子たちが成長したら子どもではないのでフィールドがなくなってしまいます。そのため、特定の人を指さないようにしています。



朗らかというのは、いろいろな事柄で大勢の人がマイナスに捉えがちですが、プラスに捉えていこう。という気持ちでそんな社会で誰か（特定を指さない）を包みたいです。

これからの展望や思いについて教えてください

発足から10年経ち2022年で11年目を迎えます。10年も経つと、参加者であった子がリーダーの年齢になり、当時リーダーしていた学生が親になっていきます。その親が子どもをクラブアトラクションに参加させるという流れがあると嬉しいなと思っています。

事業内容的には次の3つです。

- 1 ファミリー向けのプログラム
- 2 世代間をだけでなく、地域間を取り扱いたい
- 3 クラブアトラクションの10年間を見直す



どういったものかというと、

1については、上記していることでもあります、参加者がリーダーに、リーダーが親になると家族になっていきます。そのために、プログラムなどを模索しています。

2については、世代間は、1にも繋がっていますが、おおよそ取り扱うことができたと感じている。

次は、地域間も取り扱いたい。何故かというと、活動拠点の滋賀県は良い意味でも悪い意味でも真ん中に琵琶湖があります。そのため、西と東で繋がりができづらいので地域間も取り扱いたいです。

3については、良いことや悪いこと全て、再確認してこれからに繋げていきたいです。

令和3年度事業の実施状況

新型コロナウイルスの感染拡大により、当初予定していた事業が実施できなくなりました。

コロナが収まるまでは、対面事業を中止し、ホームページのリニューアル等、オンラインで行える事業を実施しています。

青少年活動・青少年育成 研修交流事業「ゆめっと未来づくりセミナー」 令和3年度は中止

青少年団体を対象とする研修を実施し、参加青年の資質向上とスキルアップを図る。加盟団体それぞれの特色を活かした研修会の開催を検討する。

ユメノミプロジェクト「ゆめっと交流ネットワークサロン」 令和3年度は中止

普段の活動では出会えない異業種の団体と交流し、青少年活動のネットワークを活性化させ、リアルな表情と熱量と息吹が伝わるリアルな繋がりの場を作る。

地域の若者スポットライト事業 令和3年度は「クラブ アトラクション」を取材しました。

京都青少年ゆめネットワークの加盟団体から推薦された若者が、京都府内で活動する青少年団体を取材し、その内容を広報紙及びホームページに掲載するなど、青少年団体、若者の活動を支援する。

加盟団体への訪問取材 令和3年度は2団体を取材しました。

昨年度に引き続き、加盟団体を訪問し、組織の成り立ち、現状、これからの夢やビジョン、ゆめっと京都に期待することなどを取材する。

広報紙「ゆめっと」の発行 令和3年度は3月に1回（本号）を発行しました。

京都青少年ゆめネットワーク及び加盟団体の事業参加者募集及び事業報告を掲載するとともに、加盟団体への訪問取材結果を掲載し、加盟団体の連携と情報共有を進める。

ホームページの運営 令和3年度は加盟団体にホームページについて意見を訊きました。

ホームページをリニューアルし、各加盟団体からの募集などのお知らせを随時掲載していく、会員団体をはじめ、ゆめっと京都と連携しているさまざまな活動団体の情報提供により、青少年活動情報の集積を目指します。

加盟団体間の情報共有化 随時に情報を提供しています。

ゆめっと京都に届く各種情報のうち、加盟団体間で情報共有すべきと判断した場合は、速やかに、加盟団体あてメール送信します。

京都府との連携、他団体との連携化 適宜実施しています。

京都府子ども・青少年総合対策室、京都府災害ボランティアセンター、年々歳歲京都青年団体会議、(公社)京都府青少年育成協会など連携し、青少年の健全育成、青少年活動の活性に取り組みます。

京都青少年ゆめネットワーク 会員名簿

京都府キャンプ協会

(公財)青少年野外活動総合センター(友愛の丘)

(公財)京都Y M C A

(一社)茶道裏千家淡交会総本部青年部

京都サイクリング協会

日本ボーイスカウト京都連盟

京都府商工会議所青年部連合会

(公社)京都青年会議所

京都青年中央会

京都祇園祭ボランティア21

京都伝統産業青年会

青年塾むげんの会

京都府連合青年団

(一財)ポジティブアースネイチャーズスクール

京都府レクリエーション協会

(特非)ガバナンス舞鶴

(一財)京都ユース・ホステル協会

共育あそび場サードプレイス

(特非)京都海外協力協会